

エヴァモア俱楽部・JAエヴァモア俱楽部

EVER MORE

ヌマザワグループ 地域とのコミュニケーション広報誌

サスティナビリティレポート

sixteenth 16

NUMAZAWA SDGs Agenda 2030 ®

ヌマザワ

未来へつなぐバトンプロジェクト

新庄もがみの未来を創るために、ヌマザワのSDGsの取り組みが広がり、共感してくださる皆様と共に次の世代へバトンをつなぐことをカラフルなリボンに込めました。リボンは未来への想い、希望です。

人形・写真供養祭 物故者慰霊祭

12.18 [土曜日] 10:00 [受付] ~

- 10:00 人形・写真受付
- 17:00 人形・写真ご供養祭開式
- 18:00 物故者慰霊祭開式

会場
エヴァホール新庄
新庄市飛田 558
供養料 1,000 円
(会員様無料)

※お申し込みはエヴァモア俱楽部
JAエヴァモア俱楽部

会員カードの提示
をお願いします。



※受付は当日のみとなります。前日・後日の持ち込みはできません。

※人形ケースやガラス・金属等はご遠慮ください。

※本年度ヌマザワ・JAにてご葬儀されました故人様を合同慰霊祭にてご供養致します。

想いをつなぐ
ヌマザワ

<https://www.numazawa.co.jp>
<http://www.evermore-s.art>

お問い合わせ ☎ 0120-52-0855

ヌマザワグループ

- 株式会社ヌマザワ 本社
- エヴァホール新庄・紫陽花・すみれ
- エヴァ アネックス
- やすらぎファミリエ茶屋町
- エヴァやすらぎ・エヴァモア美術館
- お仏壇ギャラリーヌマザワ

〒996-0026 山形県新庄市大町3-41
TEL.0233-22-2137 FAX.0233-23-7566

- 株式会社医療救急サービス
- ヘルスケアショップシープ
- いきいき俱楽部シープ
- エヴァモア俱楽部・
JAエヴァモア俱楽部 事務局

会員様
無料

SDGs Column

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 持続可能な開発目標	2 経済成長	3 社会的持続可能性	4 環境的持続可能性	5 人権	6 貧困の削減
7 生態系保全	8 経済成長	9 地域社会	10 環境的持続可能性	11 人権	12 貧困の削減
13 生態系保全	14 水資源の持続可能性	15 木の持続可能性	16 地域社会	17 ハーモニートリニティ	18 SDGs

SDGs とは
SDGs は「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標) の略称で 2015 年 9 月の国連サミットで採択された、国連加盟 193 国が達成を目指す 2030 年までの国際目標です。地球規模のさまざまな問題を解決するために 17 の目標と、それを達成するための 169 のターゲットを設定しています。

SDGs は県内で広がっています
「SDGs 県民運動を推進 県、山大、山新が共同宣言」として、山形新聞に掲載された写真です。吉村知事は、「SDGs の取り組みの重要性を広く宣言し、県内各界各層へと広がる運動につなげていくことは、本県の持続的な発展に大きく資する」と述べています。SDGs の活動の輪は、産学官、一般市民へと広がっています。(2020.8.7 山形新聞)



を消す、考えて運転する、徹底した「ゴミの分別を行う。わからないことは、自ら調べて学ぶ姿勢が見られるようになります。会社だけでなく、各家庭でも取り組んでいます。また、福原鮮魚店さん、新庄東高さんなど、SDGsをきっかけに良い「縁の循環」が生まれています。一企業であるヌマザワだけでは解決できない地域の課題でも、「縁でつながったパートナー先とお互いができることが増えています。この新庄もがみの人たちが安心して暮らせる「まち」が未来へつながっていくと思っています。」

ヌマザワが地域から必要とされる会社でいるために、SDGsに取り組み、未来へバトンをつないでいくことが、地域社会、皆様に対する恩返しであると考えています。私たちは SDGs で地域に新風を吹かせます。



ヌマザワ SDGs 宣言

新庄もがみの未来を創るため
「持続可能な社会」を
次世代につなぐことが私たちの使命です。

2021年9月25日
株式会社 ヌマザワ
代表取締役 沿澤 純一



「新庄もがみ」で一番をめざす
地域から広がる共感の輪
ヌマザワのSDGsのうねりを
地球環境、地域社会、会社の未来へつなげる

ヌマザワの企業理念は「想いをつなぐ」です。人生最期のセレモニーであるお葬式を事業として、日々多くの方々と接する中で、最近、地域のコミュニティや人と人、社会とのつながりの縮小化、希薄さを感じています。経営者としては、事業を持続していくことがお客様に対しての最大のサービスと考えていますが、親としての視点では、今までは地域社会も地球環境もさらに大変になっていく状況で、「子供に事業をつないでいくのか」との思いがよぎりました。では、「私たちができることは何か」、経済活性化や人口増加など大きなうねりは起せなくとも、日々の業務でお客様との深い関わり、多くの方々と接する会社だからこそ、少しずつできることから始めることで、社会や環境を変えられるのではないか」と思いました。それがヌマザワがSDGsに取り組む意義です。

決めたからには、「新庄もがみで一番」をめざす覚悟で、まずは社員の勉強会から始めました。SDGsを知り、自分ごととして理解したことで、社員に変化が表れました。たとえば、これまで会社として意識づけしてきた環境問題ですが、以前より、こまめに電気を消す、考えて運転する、徹底した「ゴミの分別を行う。わからないことは、自ら調べて学ぶ姿勢が見られるようになります。会社だけでなく、各家庭でも取り組んでいます。また、福原鮮魚店さん、新庄東高さんなど、SDGsをきっかけに良い「縁の循環」が生まれています。一企業であるヌマザワだけでは解決できない地域の課題でも、「縁でつながったパートナー先とお互いができることが増えています。この新庄もがみの人たちが安心して暮らせる「まち」が未来へつながっていくと思っています。」

「やまがた SDGs フェスタ」出展
2021年9月23日(祝)山形ビッグウイング



ヌマザワのSDGsの取り組みを発信しています。



SDGs基礎講座では、SDGsを理解し、自分ごと捉えられるように、山形新聞記事から考えるワークを行いました。普段何気に読む記事をSDGsの視点で考え、グループで話し合いました。全員が提出した課題と取り組みをまとめました。ヌマザワのSDGsのスタートです。

やまがたSDGsフェスタに参加

去る9月23日、山形新聞・山形放送主催の「やまがたSDGsフェスタ」に出展してきました。山形県では初めてのSDGsの大きなイベントです。県内各地の企業、山形大学が参加し、会場には小さなお子様づれの家族、学生、一般の人など、多くの来場者がありました。ブースに来ていただいたお客様との会話からも、SDGsの広がりを感じました。そして、地域の未来を創ります。

私たちの今の行動が、地球の、

して、地域の住民として取り組んでいきます。

新庄もがみ地域のお客様に支えられて、126年の歴史を刻んで参りましたが、これからも皆様と共に時を重ねていただきたいとの想いと、これまでの恩返しの想いでヌマザワはSDGsに取り組んでいます。「SDGsって何?」「どんなことやってるの?」など、気軽にお声を掛けていただけましたら、うれしく思います。

新庄もがみの未来を創るために第一歩 ここから始めました



SDGsのワークは、新聞記事と17の目標を見比べながら、そこから課題に導いていきます。

始まりは2021年5月、SDGsの基礎を学び、グループワーク、発表を行い、遠い世界のことではなく、自分こととして、一人一人が考えました。日頃から葬祭業や接客業の研修など、学ぶこと、発表することを実践しておられます。勉強会には慣れている社員ですが、SDGsの17の目標を見つめながら、いつもとは違う頭の使い方、課題に戸惑うこともあります。

SDGsは「誰もが一年生」、みんな一年生から始めて、上級生の階段をのぼる努力をしています。これからも継続して学び、会社とした。

SDGsは世界の共通語、地球規模のさまざまな問題を解決するための理念は「誰ひとり取り残さない」です。ヌマザワでは役員、正社員、アルバイトまで全員がSDGsを理解し、自分ごととして行動していくために学びを続けています。

「誰ひとり取り残さない」
全社員でSDGsを学ぶキックオフ宣言です。

未来へ想いをつなぐヌマザワ SDGsプロジェクト キックオフ

“誰ひとり取り残さない”

ESG 経営から導く SDGs プロジェクト

スマザワのSDGsの取り組みは「環境」「社会」「企業統治」で構成されたESG経営を通じて、SDGsが導く2030年のスマザワの姿を掲げました。

地球環境や地域社会が抱える課題解決に向けた取り組みを継続していくことで、住み続けられる新庄もがみの創造に貢献してまいります。



G 企業統治に対する取り組み

- DX をはかり時流にあった「ヒト」「モノ」「コト」「情報」戦略を行う。
- 事業継続計画を策定しリスクマネジメントを行う。
- SDGs 推進委員会を月に1回開催しPDCAサイクルをまわす。
- SDGs 推進委員会の結果を取締役会議に報告し経営にいかす。
- SDGs の情報を開示する。
- SDGs の情報を共有し共に活動する

目標 新庄もがみで持続可能な経営が 100%できている会社。



E 環境に対する取り組み

- クリーンエネルギーを導入する。
- 電気自動車を導入する。
- LED 照明や省エネ機器を導入する。
- 缶・ビン・ペットボトルの分別を行い再利用につなげる。
- 環境に配慮された「お棺」や「返礼品袋」を使用する。

目標 クリーンエネルギー導入率 100%、電気自動車導入率 80%、LED 照明導入率 90% を達成する会社。

S 社会に対する取り組み

- 地域住民の方と交流の場をつくる。
- カルチャースクールを開催する。
- 終活セミナーを開催する。
- ご遺族に寄り添いお葬式のサポートを行う。
- 法事・仏壇・仏具などの供養品を扱う。
- 健康経営優良法人の認定を受ける。
- 仕事だけでなく教養を含めた多様な教育を行う。
- 目安箱を設置し業務改善をはかる。
- 女性社員の更なる活躍を推進する。
- 社員満足度アンケートをとり働き方改革に取り組む。
- 新庄まつりや新庄雪まつりなど地域行事へ協力する。
- 新庄もがみの方に楽しんで頂けるようなイベントを企画する。
- シニア・障がい者・グローバル人材など多様性をもった雇用をはかる。
- 葬祭会館を緊急時の避難施設として提供する。
- AED をすべてのホールに配置する。
- 東日本大震災で被災された方の支援活動を行う。
- 地域文化（自然・伝統・芸術）の発信活動を行う。
- 日本文化（絵画・美術）をエヴァモア美術館から発信する。

目標 自社の成長を通じてSDGs 活動を100%続けることにより、新庄もがみの持続可能な社会をデザインすることに貢献する会社。



の地産地消につなげる電気メニューを提供するものです。エヴァホール新庄で「やまがた水力プレミアム」を採用しています。また、本社、エヴァホール新庄、エヴァやすらぎ、やすらぎファミリエ茶屋町の照明を一部祭壇を除いてLED照明にしました。

リサイクルを行う活動は、大きなゴミ箱を設置し、分別を徹底しています。ゆくゆくは、「ゴミを集めリサイクルできるようなりサイクルステーションを作りたいと考えています。

地球上に優しい商品を使う活動は、お客様にお出する「コーヒーを工シタルなコーヒーに変えました。

SDGs宣言を行い、活動を始めたことで、パートナーシップ企業とのつながりが増えてきて、ヌマザワの取り組みが広がっています。多くのを感じています。社内においても、社員の意識が変わり、自ら積極的に行動しています。小さな行動でも一つ一つ続けていくことで、「地球環境」をつくります。

子供たちが住み続けられる「地球環境」をつくる

E 環境
(Environment)

再生可能エネルギーの地産地消で 脱炭素社会に向けて 貢献する活動

小さな一步が大きな形になっていく
ヌマザワができる取り組みを
一歩ずつ確実に！



エヴァホール新庄で東北電力のやまがた水力プレミアムを採用しました。

ヌマザワは内外にSDGs宣言を発表し、具体的な活動を開始しました。環境については、脱炭素社会に向けて貢献する活動として、東北電力から「やまがた水力プレミアム」の供給と認定書を交付されました。「やまがた水力プレミアム」は、山形県においてCO₂排出削減に取り組む企業に、CO₂を排出しない山形県企業局の水力発電所の電気を供給することで、再生可能エネルギー

は、最近の気候変動による影響で土砂崩れや洪水などの脅威になります。未来の子供たちが安心して暮らせる地球環境を残していく為に、私たちは今から環境問題の解決に取り組みます。山、月山、神室連峰などの山々に囲まれ原生林が多く残っています。また、山形県の母なる川、最上川をはじめ小国川、地名にもつなが流れています。豊かな自然は、最近の気候変動による影響で土砂崩れや洪水などの脅威になります。未来の子供たちが安心して暮らせる地球環境を残していく為に、私たちは今から環境問題の解決に取り組みます。



地域の皆様のお役に立つように、コロナ感染予防セットを行政に寄付しました。



地域のイベントに協賛しました。

暮らせる「まち」をつくります。
これからもみんなが安心して
暮らせていただきました。

コロナ対策支援にもSDGsの取り組みの輪が広がっています。
スマザワのすべての施設に万一に備え、AEDを設置しました。

高齢の方も大勢参加くださいました。高校生とのやり取りが微笑ましい。
地域貢献活動を行うについて
は、「お葬儀に対する不安や相談
をお受けしました。また、
SDGsに取り組んでいる新庄
東高の生徒さんとのタイアップ
でスマートフォン写真教室を開
催しました。地域住民と高校生と
の交流は住民の方、生徒さん、ヌ
マザワにとっても有意義な取り
組みであると思います。

みんなが安心して暮らせる「まち」をつくる

S 社会
(Social)



お客様の安心のために、お葬式セミナーは今後も開催していきます。

シニアライフをデザインする
活動で、6月に3回にわたって
「お葬式セミナー」を開催しまし
た。また、J.A.さん主催でもヌマ
ザワの葬儀会館を会場に2回、合
計6回のお葬式セミナーでお客

様のお葬儀に対する不安や相談
をお受けしました。また、
SDGsに取り組んでいた。また、
東高の生徒さんとのタイアップ
でスマートフォン写真教室を開
催しました。地域住民と高校生と
の交流は住民の方、生徒さん、ヌ
マザワにとっても有意義な取り
組みであると思います。

お客様、地域社会に対しての活
動テーマは、スマザワの本業であ
る葬祭業を通しての取り組みに
深く関連しています。

新庄もがみ地域には人口減少、
少子高齢化などの地域課題があ
げられています。将来安心して暮
らし続けるためには、「まち」「人」
「仕事」の好循環が必要と考えま
す。創業以来、街の中心地に本社
を構え、新庄の3つのエリアに葬
儀会館を保有するスマザワなら
ではの活動を「お客様」「社員」「地
域社会」が良きパートナーとして
一緒に取り組むことにより地域
課題を解決しみんなが安心して
暮らせる「まち」をつくります。

充実する日々のために
人と人の交流で笑顔になる
不安や心配は安心に変えていく
地域社会の想いをつなぐスマザワ



企業理念「食の力で世界を変えていく」 グランデミート(大豆)が SDGsの達成に貢献

■SDGsに取り組むきっかけは?
私は子供が三人いますが、「彼らの将来、新庄はどうなっているんだろう」から始まりました。社会はシステム化されて住みやすくなっているかもしれません、が、食糧はどうかと調べたら、このままでは厳しい現実を知り、何か行動を起こさなくてはいけないと思ったのがきっかけです。

■取り組みの内容を教えてください。
食べ物を捨てている一方で飢餓が発生しているなど、世界的な食糧の供給のバランスが歪んでいます。

時代の変革とともに社会問題や地域課題が変化していきます。変えていくことと変えてはいけないことを見極める不易流行の精神が求められます。私たちは多様化するお客様のニーズにお応えするサービス提供力、そして内部環境と外部環境の変化にも柔軟に対応する環境適応力、さらにはSDGsを実践することにより地域から必要とされる「会社」を作ります。

地域から必要とされる「会社」をつくる

**G ガバナンス
(Governance)**



SDGsの取り組みで
素晴らしい化学反応の連鎖が起きる
会社をつくる

「事業継続力強化計画」が東北経済産業局より認定されました。



時代の変革とともに社会問題や地域課題が変化していきます。変えていくことと変えてはいけないことを見極める不易流行の精神が求められます。私たちは多様化するお客様のニーズにお応えするサービス提供力、そして内部環境と外部環境の変化にも柔軟に対応する環境適応力、さらにはSDGsを実践することにより地域から必要とされる「会社」を作ります。



グループに別れて、SDGsの課題から又マザワに提案できることを話し合い、積み重ねています。当社沼澤社長もグループに入って考えを述べます。



礼文化を伝えていくことは、又マザワのSDGsの取り組み活動の一つです。高校生のみなさんがお葬式を体験してくださることは、スマザワにとつても大切なことだと思っています。

模擬葬儀を体験してくださいたみなさんのクラスは、「毎週火曜日の午前中の授業で、スマザワへのプレゼンのためにグループディスカッションを行なっています。

当社の沼澤社長も授業に参加して、「グループ」とにまとめた提案内容を伺います。実際には実現が難しいようなアイデアもありますが、それを実現させることや考え方を示したり、前回の授業から進捗や方向転換など、毎回、真剣に向き合い、意見を述べています。

発表は、12月、どんなプレゼンテーションをしていただけるのか、実用化可能か、とても楽しみにしています。新庄東高のみなさんの体験が、新庄もがみ地域の未来に活かされることを願っています。

SDGs 授業



新庄東高さんから「スマザワと
新庄東高が地域でできる」との
プレゼン授業のご依頼をいただ
きました。

新庄東高さんは、特色ある取り組みや地域と連携したプロジェクトを通して、座学では学ぶことができない実践力を育成しています。その一貫として、現在高校2年生の2クラスがSDGsを取り組んでいます。1年生の時は、SDGsの基礎知識とグループディスカッションを学び、2年生から実践として、新庄市内の企業から出されたSDGsの課題について考え、各グループごとに

初代駒の「ながり」が未來に添かれていく

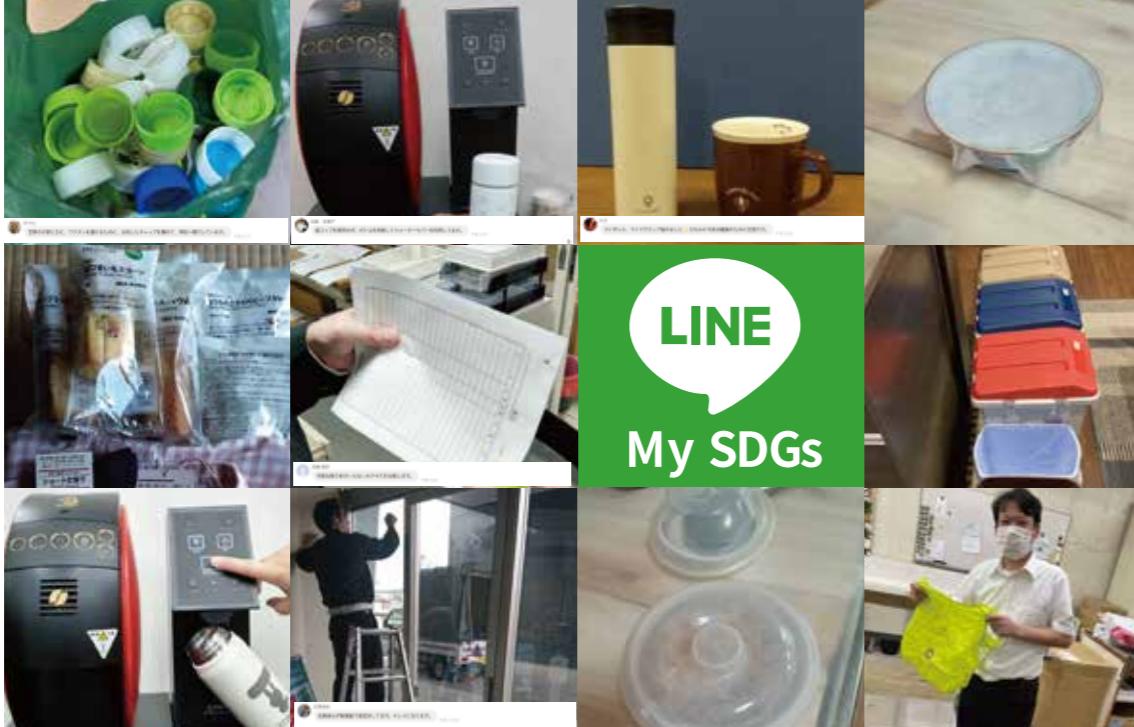
模擬葬儀

儀礼文化の想いをつなぐ

社員の意識に変化が!
ラインでつながる。



NUMAZAWA
My SDGs
LINE application



SDGsは世界の共通語です。スマザワでは、社員みんなにしっかりとSDGsを理解してもらい、その後も学びを続けています。そのため、会社としての取り組みだけでなく、社員一人一人が自分ごととして、職場や家庭で取り組みを始めました。SDGsを知る以前から取り組んでいたこともありますが、SDGsを知り、自分ごととして腹落ちしてからは、「会社の方針だからやる」というだけではなく、自ら積極的に取り組んでいます。

社員の取り組みをMy SDGsと命名して、ライングループをつくり、自分たちが実践したことを各自ラインにアップしています。他の人の取り組みで良いものは取り入れていく、そんな良い循環とコミュニケーションが生まれています。意識が変わったことで、行動が変わってきました。

未来のためにみんな楽しみながら、My SDGsに取り組んでいます。



自分ができること、どんな小さなことでも地域の誰もが取り組むことでみんなが笑顔になれる地域になっていく。



沼澤 俊樹
式典施行部

“SDGs REVIEW NUMAZAWA”

SDGsの取り組みは、会社だけではなく、仕事を離れた後には家庭でも取り組んでいます。小学生の子供を持つ2人に家庭でのことも聞いてみました。

長澤 直美
ホールスタッフ



沼澤(ゴミ)の分別と車の運転です。地球環境を意識するようになりました。ま捨てていたのが、今はキャップとラベルを取って、洗ってと徹底して分別してから捨てるようになりました。

長澤(ペットボトルはこれまでそのまま捨てていたのが、今はキャップとラベルを取って、洗ってと徹底して分別してから捨てるようになりました)。

長澤(ペットボトルはこれまでそのまま捨てていたのが、今はキャップとラベルを取って、洗ってと徹底して分別してから捨てるようになりました)。

■家族(子供)とSDGsの話は?

沼澤(小一の上の娘が学校でSDGsの話を聞いているので、家庭でも話題になります。保護者会で学校に行くと、校長先生始め、先生方の意識の高さを感じます)。

長澤(最近はテレビでも流れるので、小学生の娘は私といっしょに考えて行動してくれますね。自宅では発泡トレイをスーパーに持っています)。

■新庄もがみのために貢献活動は?

沼澤(笑顔で過ごせる地域づくり。長澤)地域のつながりを大切に。

■SDGsを知って変わったことは?

沼澤(普段の行動に対してSDGsの観点ならどうするか、もっと良くなるためにはなど、意識が変わりました)。小さなことから始めています)。

長澤(以前から水筒は持ってきていましたが、子供にも水筒を持たせるなど、ペットボトルを飲まなくなりました)。